

今年の「立春(2/4)」は暦に合わせるかのように寒さが和らぎましたが、その後は真冬の寒さに戻ったり寒暖を繰り返しています。それでも今週は二十四節気の「雨水」、これから陽気もよくなりいよいよ春に向かっていくことと思われます。

自治会としても次年度の準備を始めました。通常総会の準備も進めており、役員各分掌で今期の総括と来期に向けての課題整理を行なっているところです。また本日は役員候補の抽選を行ないました。総会開催は4月26日(日)、こてはし台中学校体育館。案内等は次回(3/15)班長会にて回覧配布予定です。

【 成熟したみ春野にふさわしい備えと品位を、今こそ 】

み春野が分譲されてから、早くも四半世紀が経過いたしました。かつては子育て世代の活気に満ちていたこの街も、今では多くのご家庭でお子さまが成人・独立され、落ち着いた佇まいを見せる成熟した地域へと歩みを進めております。

地域の祭りや環境美化へのご協力、自治会活動への活発なご提案など、皆さまの積極的な関わりが、外部からも「活気と秩序あるまち」として高く評価されていることは、私たちの誇りです。

しかしながら近年、路上駐車や住戸からの騒音、路上喫煙やポイ捨て、ペットの糞尿の放置といったマナーの低下が一部で顕在化しており、地域の品位を損ねかねない状況も見受けられます。成熟した街であるからこそ、日々の暮らしの中に品格が宿ることを、今一度心に留めたいものです。

また、災害や犯罪といった非常時においても、同様の信頼を保てるかどうかは、今後の備えにかかっております。地震や風水害、特殊詐欺や空き巣被害など、私たちの生活を脅かす事象は年々多様化・複雑化しています。こうした事態において、避難所の開設や初動対応、地域の見守りや声かけといった役割は、行政のみならず、地域住民の主体的な関与が不可欠です。

とりわけ、住民の大半を占める50代・60代の皆さまは、この地域の成り立ちを知り、また、社会経験が豊富で判断力と行動力を兼ね備えた世代として、今後の地域運営の中核を担う存在です。「自分にはまだ早い」「誰かがやってくれる」と思われるかもしれませんが、まさに今こそ、その経験と信頼が求められています。

防災訓練の参加や避難所運営、防犯パトロールや見守り活動は、特別な知識や負担を要するものではありません。

まずは一度、現場をご覧いただくだけでも結構です。きっと、地域の課題と可能性を実感していただけるはずです。

「成熟した地域には、成熟した備えとふるまいがふさわしい」

どうか“地域の要”として今後の活動にご参加くださいますようお願いいたします。皆さまの一步が、み春野の安心と信頼、そして誇りを維持し将来につなげていくこととなります。